



平成21年度

事業計画



事業計画の策定にあたり

専修大学は、平成21年(2009年)に創立130年を迎えます。学校法人専修大学は、この記念すべき年に取り組んでいく「平成21年度 事業計画」を策定いたしましたので、ご報告いたします。

「平成21年度 事業計画」は、専修大学がこれまで歩んだ歴史と伝統の顕彰と大学力の広範な発信を目的とした記念事業を計画の中核に据えるとともに、21世紀ビジョン「社会知性 (Socio-Intelligence) の開発」を達成するために、「学生を基本に据えた大学づくり」を基本理念とした教育研究の強化及び社会との密接な連携構築を重視しています。

専修大学は、平成21年(2009年)10月30日に挙げる創立130年記念式典をはじめ、「知の発信」を積極展開する記念行事を予定しています。これらの記念行事を通じて、学生が本学で学ぶ喜びと誇りとを再認識し、さらに、本学特有の存在意義や研究力が社会に示され、社会と本学との有機的な繋がりがより一層強まることを期待しています。また、小田急線向ヶ丘遊園駅前に設置した「専修大学サテライトキャンパス」を、平成21年(2009年)4月より本稼働させます。このサテライトキャンパスは、大学が果たすべき使命のひとつである「社会貢献」の拠点として、公開講座、社会人教育、教育研究成果の公開などの取り組みが予定されています。加えて、平成22年度(2010年度)に開設を予定している学部の改組・再編による新学部・新学科の設置準備をはじめ、高等学校との教育連携、社会とのネットワークづくり、さらには、教育研究環境の充実に向けた神田及び生田キャンパスに係る総合的なキャンパス構想の検討を進めていきます。

石巻専修大学は、学生の能力向上のために、教育の質を高めるという「教育第一主義」を最優先に掲げ、経営学部における国際経営・観光コースの新設、経営学部・大学院の「5年一貫教育プログラム」の導入、入学前から1年次生を総合的に支援する「フレッシュマンセミナー」の開講などに引き続き、平成21年度(2009年度)は、理工学部全学科でのコース制を導入します。

専修大学北海道短期大学は、徹底した少人数による個性重視の教育を更に強化するため、平成21年度(2009年度)は、みどりの総合科学科を3つの系(農業科学系、環境緑地系、環境土木系)に、商経社会総合学科を5つの系(商学系、経営学系、経済学系、法学系、ビジネス・情報系)に改編します。

ここに挙げた三大学の取り組みは、いずれも創立者の熱き思いである「建学の精神」を、現代に本学で学ぶ学生、卒業生、そして教職員が共有するべく策定した21世紀ビジョン「社会知性の開発」に基づく構想であり、今後もビジョン達成に向けた戦略的な大学改革に邁進していきます。

今日の社会は、グローバル化の拡大、少子高齢化の進行、資源・環境問題の深刻化など多くの諸課題を抱えており、また、大学においても教育研究の本質、あり方が厳しく問われ、変革を求められています。まさに今日は、大学創立期を強く意識させる変革と再構築の時代といえます。このような激動期であるからこそ、本学は、130年に亘り各界で活躍する有為な人材を輩出し、社会の負託に答えてきた「大学力」を社会に示し、創立130年という記念すべき年を、新たな飛躍に踏み出す節目としていく所存です。



学校法人専修大学理事長 日高 義博



I 創立130年記念事業の推進

学校法人専修大学は、設置する三大学が平成19年から平成21年までの間に、創立に係る節目の年を迎えることから、「創立130年記念事業資金」の募金活動を行うとともに、それぞれの大学において、新校舎建設をはじめとする施設整備や学術講演会に代表される知の発信など、様々な創立記念事業を企画し、実施してきました。

平成21年度は、専修大学が平成21年9月16日に創立130年を迎えることから、以下の記念行事を実施します。

1. 記念式典・祝賀会

専修大学は、大学記念日である平成21年10月30日に、創立130年を記念する式典及び祝賀会を実施する。

2. 創立130年宣言

専修大学は、学生と共に創立130年を祝い、本学に学ぶ喜びを体感してもらうことを目的とした創立130年宣言のセレモニーを実施する。

3. 記念講演会

専修大学は、一般及び卒業生並びに在学生等を対象とした記念講演会を実施する。

一般及び卒業生を主対象とする記念講演会は、専修大学の研究成果の発信に重点を置き、学生を主対象とする記念講演会は、今後、学生が自ら開発する社会知性の指針となる内容を企画する。

4. 歴史展示『創立者同時代展』

専修大学は、本学の歴史と伝統を顕彰することを目的に、大学創立期に係る歴史資料の展示会を企画し、神田・生田キャンパス及びサテライトキャンパス等において巡回展示を行う。

5. 専修大学130人の顔

専修大学は、創立130年に因み、本学を卒業し、社会で活躍されている(された)方々を130人取り上げ、雑誌に紹介記事を連載し、大学の歴史・伝統・実績をアピールする。

6. 創立者胸像の整備

専修大学は、創立者4人の胸像(ブロンズ像)を製作する。

7. 130年記念演奏会の実施

専修大学は、専修大学フィルハーモニー管弦楽団による特別演奏会を実施し、本学の文化活動の成果をアピールする。

その他、専修大学育友会からの寄贈により、神田キャンパスに大学のシンボルとしての「黒門」を設置することが計画されている。

<これまで実施した主な記念事業>

【専修大学】

- 生田10号館(130年記念館)の建設
- サテライトキャンパス(向ヶ丘遊園駅前)の設置
- 法科大学院前メモリアルポールの設置
- 文化講演会
- ホームカミングデー
- 「専修大学カップ(神奈川県学童軟式野球選手権大会)」の主催

【石巻専修大学】

- 創立20年記念講演会・祝賀会
- 伝統芸能の鑑賞(文楽・琵琶・舞曲)
- 国際水環境シンポジウム
- JHFC燃料電池自動車試乗会
- 専修大学図書館貴重書展示
- 中国温州大学との国際交流協定締結
- ホームカミングデー

【専修大学北海道短期大学】

- 創立40年記念シンポジウム
- 学長杯争奪キッズベースボール大会
- 記念植樹

II 教育・研究力の強化

【専修大学】

1. 組織に関すること

(1)新学部・新学科の設置準備

専修大学は、文学部心理学科及び人文学科社会学専攻を改組し新学部(人間科学部)を設置する。さらに、日本語日本文学科・人文学科(社会学専攻を除く)の各専攻を学科に改組し、併せて新学科(人文・ジャーナリズム学科)を設置する。

新学部・新学科は、平成22年4月の開設に向け準備を進める。

(2)大学院商学研究科の再編準備

専修大学は、大学院商学研究科を商学専攻と会計学専攻(新設)の二専攻にするべく、検討・審議を行う。平成21年度は、再編計画の実現に向け、大学院の調整・準備を図る。

2. カリキュラム等に関すること

(1)ネットワーク情報学部のカリキュラム改正

専修大学ネットワーク情報学部は、平成21年度入学者よりカリキュラム変更し、プログラム制を導入する。学生は、希望するプログラムを選択することで、自らの興味や将来目標がより明確になり、学びを深めていくことができる。

(2)自校史教育の強化(『専修大学の歴史』刊行)

専修大学は、平成21年度に『専修大学の歴史』を刊行するが、総合科目として開講している「日本の大学史のなかの専修大学」の授業テキストとしても活用する。

3. 初年次教育に関すること

(1)『知のツールボックス』改訂版の活用による導入教育の強化

専修大学は、平成21年4月に改訂刊行する『知のツールボックス』を新入生に配付し、導入教育授業で活用する。改訂版は、学生がより理解を深められるよう、練習問題集として「ワークブック」を新たに追加する。

(2)授業と連携した図書館利用の促進

専修大学図書館は、各学部の導入教育の一環として実施している「図書館ツアー」(活用講習会)の充実を図る。

4. 教育改革に関すること

(1)教育効果測定研究プロジェクトの研究開始

専修大学は、入学時の基礎学力と入学後の学業成績との相関関係を分析し、分析結果を今後の教育改革に活用することを目的として、平成20年6月に「教育効果測定研究プロジェクト」を設置した。平成21年度は、平成20年度内における準備・予備調査を踏まえ、詳細な分析に取り組んでいく。

(2)「大学院教育振興施策要綱」に則した大学院教育の改革

専修大学大学院は、文部科学省策定の「大学院教育振興施策要綱」に則り、FD(ファカルティ・ディベロップメント)の推進やWeb講義要項(シラバス)システムの導入等、大学院教育の改革に向けた取り組みを進める。

(3)法科大学院教育充実

専修大学法科大学院は、教育の質の向上のため入試方法の改善、カリキュラム改革、専任教員の充実等を図ってきた。平成21年度からは、①入学者の質と多様性の確保、②修了者の質の保証、③教育体制の充実、④質を重視した評価システムの構築を柱に改善策を推進していく。

5. 研究に関すること

(1)研究プロジェクトの推進

専修大学社会知性開発研究センターは、5研究拠点(都市政策, 中小企業, 言語・文化, 東南アジア世界史, 歴史学)のプロジェクトに対する支援を行うとともに、文部科学省等の新たな研究プロジェクトの採択に向け、情報収集及び収集情報の周知等、支援体制を強化する。

(2)図書館データベース化事業の推進

専修大学図書館は、研究を支援するため、図書資料のデータベース化を推進する。平成21年度は、ベルンシュタイン文庫「手稿史料」のデータベース化を完了させる。

6. 国際交流に関すること

(1)中期留学プログラム(フランス語コース)の開設

専修大学は、中期留学プログラムにおいて、英語コース及び中国語コースに加え、フランス語コースを開設する。本コースによる派遣先は、国際交流協定校であるリュミエール・リヨン第二大学とする。

(2) ラオス国立大学との国際交流推進

専修大学は、東南アジア諸国との交流を推進するため、ラオス国立大学との国際交流協定締結に向けた準備を進める。

7. 施設整備に関すること

(1) 心理教育相談室棟(仮称)の新築工事

専修大学は、生田キャンパス内に心理教育相談室棟を建設し、分散設置された相談室機能を集約する。また、新学部の設置計画に伴い、生田4号館の改修工事を行う。

(2) 教育・研究用コンピュータシステムの更新

専修大学は、情報科学センターの教育・研究用コンピュータシステムの更新を行い、平成22年4月1日から新システムを本稼働させる。新システムは、省電力・低発熱型機器の導入などにより、環境負荷の低減に寄与し、グリーンITを推進する。

(3) Web講義要項(シラバス)システムの機能強化

専修大学は、学部でサービスを提供しているWeb講義要項(シラバス)システムにおいて、大学院の講義要項情報も追加し、サービスの充実を図る。

(4) 図書館新電子計算機システムの導入

専修大学は、図書館電子計算機システムの更新に伴い、新システムを開発、稼働させる。

(5) 国際研修館建替えの検討

専修大学は、国際研修館の老朽化に伴い、同施設の建替えについて検討を進める。

【石巻専修大学】

1. カリキュラム等に関すること

(1) 理工学部のカリキュラムの導入

石巻専修大学は、理工学部基礎理学科、情報電子工学科、生物生産工学科においてコース制を導入する。これにより、石巻専修大学は、全ての学科がコース制を設けることとなる。

(2) 理工学研究科修士課程における自動車整備士1級コースの設置申請

石巻専修大学は、機械工学科自動車工学コースが平成21年度に完成年度を迎え、2級自動車整備士受験資格を取得した卒業生を初めて輩出することから、より高度な専門性を求める学生に応えるべく、理工学研究科修士課程における自動車整備士1級コースの設置に向けた申請等を行い、平成22年4月の設置を目指す。

2. 研究に関すること

石巻専修大学共創研究センターの設置

石巻専修大学は、研究の高度化を図るとともに地域貢献を推進するため「石巻専修大学共創研究センター」を設置する。本センターは、学外研究資金の確保や人材交流を積極的に推進する。

3. 施設整備に関すること

3次元プリンターシステムの導入

石巻専修大学は、平成21年度に導入予定の情報電子工学科カーエレクトロニクスコースにおいて、3次元プリンターシステムを取り入れ、コンピュータ上での設計・解析を行うCAE関連授業を行う。同システムは、機械工学科自動車工学コースの教育や3次元CAD資格支援にも活用していく。

【専修大学北海道短期大学】

1. カリキュラム等に関すること

(1) 学科カリキュラムの見直し

専修大学北海道短期大学は、学科カリキュラムの改正を行い、みどりの総合科学科を3つの系(農業科学系、環境緑地系、環境土木系)に、商経社会総合学科を5つの系(商学系、経営学系、経済学系、法学系、ビジネス・情報系)に改編する。

(2) 専大ファームの充実

専修大学北海道短期大学「専大ファーム」は、平成19年から有機無農薬農産物の証しである、新JAS法に基づいた「特別栽培農場」に認証され、21年度からは「有機無農薬栽培農場」として認証を受ける予定である。

2. 施設整備に関すること

教育用コンピュータシステムの更新

専修大学北海道短期大学は、教育用コンピュータシステムを更新、活用し、教育的効果の向上及びCADや情報処理関連の資格取得支援を図る。なお、本システム更新は、年間リース料の大幅な削減を実現する。

Ⅲ 学生支援の充実

【専修大学】

1. 経済的支援に関すること

育友会奨学金の新設

専修大学は、専修大学育友会の寄付により、新たに経済的支援を目的とした奨学金制度を創設する。

2. 進路支援に関すること

会計士講座カリキュラムの改革

専修大学は、公認会計士短答式試験が平成21年度より年2回実施されることに伴い、講座カリキュラムを変更する。具体的には、2年次での最終合格を視野に入れ、学習が進んでいる1・2年次生を12月実施の短答式試験に合格させるコースの導入を目指している。

3. カレッジスポーツに関すること

体育会学生の競技力向上支援

専修大学は、体育会所属学生の競技力向上に資する高度な専門的知識を教授するため、体育部による「栄養補給」に関する講演会、及び怪我を防ぐための効果的なトレーニングに関する講習会を実施する。

【石巻専修大学】

1. 経済的支援に関すること

(1)奨学金制度の見直し

石巻専修大学は、向学意欲がありながらも、経済的理由により、就学が困難な域内の高校生を支援する奨学金制度を創設する。

(2)自宅通学支援バス路線の拡大

石巻専修大学は、平成20年度から開始した自宅通学支援バスについて、利便性・安全性向上、地域の学習機会の提供などの観点から見直しを図り、自宅通学圏の拡大（3路線から5路線）を図る。

2. 進路支援に関すること

会計専門職養成のための支援強化

石巻専修大学経営学部は、学部授業（ビジネス会計コース）の補完として、税理士等の受験に向けた講座を実施する他、奨学生制度の効果的運用、「石鳳会計研究会」との連携強化など、会計専門職養成に向けた支援を強化する。

【専修大学北海道短期大学】

1. 進路支援に関すること

資格取得・就職支援の強化

専修大学北海道短期大学は、学生に「付加価値」を付け卒業させることを目標としており、在学中における取得と実務性を重視した資格取得奨励を充実させる。就職支援については、学生の意欲と意識を喚起しながら、個性に応じた支援を図っていく。

Ⅳ 社会への貢献活動の充実

【専修大学】

1. 教育職員免許状に関すること

更新講習会の実施

専修大学は、教職課程を有し、多数の教員を輩出していることから、本学の社会的責任を果たすために、平成20年7月に「教員免許更新講習開設準備委員会」を設置、平成21年度から講習会を実施する。講習会実施に先立ち、平成21年度は、講習担当組織の設置、事務室の開設、講習実施システムの構築などを精力的に行う。

2. 社会人教育に関すること

KSコミュニティ・ビジネス・アカデミーの実施

専修大学は、平成20年度文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」に採択された「KS（川崎・専修）コミュニティ・ビジネス・アカデミー」の講座を平成20年度に引き続き開講する。

このプログラムは、第二の人生における活躍の場・職業獲得や起業支援のために、都市型コミュニティ・ビジネスを創出していくための社会的起業への参画の場を創造することを目的とし、生活文化都市に移行しつつある川崎市で再チャレンジ可能な人材育成を目指すものである。

3. 高大連携に関すること

専修大学は、高大連携協定校のニーズに応じながらプログラムの拡充に努め、「聴講生の受入れ」、「教科研修生の派遣」、「高校教員研修会・講座への教員派遣」などを推進する。

4. 公開講座等に関すること

(1) 駒井重格展の開催

専修大学は、創立者の一人である駒井重格について、出身地である三重県桑名市において展示、講演会を開催し、駒井の業績を通じて、本学の軌跡を広く社会に発信する。なお、駒井重格展は、一橋大学（駒井は、前身である高等商業学校において校長を務めた）及び桑名市博物館と共催で行うことにより、社会的関心の幅を広げたものとする。

(2) 文化講演会の開催

専修大学は、本学が有する知的資源をもって社会や地域に貢献するために、平成21年度においても文化講演会を開催し、本学の活力ある姿を社会に示していく。

5. サテライトキャンパスに関すること

専修大学は、小田急線向ヶ丘遊園駅前に設置したサテライトキャンパスにおいて、総合インフォメーション、大学の教育研究成果の発表等、知的発信を基軸とした地域貢献を推進する。

6. 施設開放に関すること

専修大学は、従前より地域住民に対する大学施設の開放を推進してきたが、新たに「神奈川県立図書館」及び「神奈川県立川崎図書館」との図書館相互利用協定を締結し、平成21年4月より広く神奈川県民に大学図書館の利用サービスを提供する。

【石巻専修大学】

1. 産学連携に関すること

石巻専修大学は、石巻信用金庫との連携や石巻産学交流会・自動車関連産業集積部会の活動を通して発足させた複数の戦略的プロジェクトを、平成20年度に引き続き推進し、地域貢献を図る。

2. 高大連携に関すること

石巻専修大学は、単位認定を行う高大接続研究事業を推進するとともに、宮城県内の高校を中心に発展的な高大連携事業（高大接続研究事業とオープンキャンパスの中間的な取り組み）を展開させる。

3. 公開講座等に関すること

石巻専修大学は、大学開放講座や企業経営セミナー等を企画・実施し、地域への知的資源の発信を推進する。

4. 施設開放に関すること

石巻専修大学は、中・高校生を対象としたオープンライブラリーや一般市民対象の施設開放を更に拡充する。

【専修大学北海道短期大学】

1. 地域連携に関すること

専修大学北海道短期大学は、美唄市との包括的な連携協力関係を構築するために、現在ある「短大地域連絡会議」を発展的に解消し、新たに「連携協力会議」を発足させる。

V 経営基盤の強化

【学校法人】

1. 外部資金の確保に関すること

学校法人専修大学は、私立大学等経常費補助金（特別補助）の申請を促進するため、対象となり得る取り組みの洗い出しを徹底化する。

2. 募金活動に関すること

学校法人専修大学は、創立130年記念事業資金募金推進委員会の募金計画に基づき、平成17年4月から開始した募金活動を積極的に推進する。

募金計画の最終年となる平成21年度は、新入生及び3・4年次生のご父母及び校友並びに法人・団体・企業等を対象に募金の働きかけを行う。

3. 事務組織に関すること

学校法人専修大学は、事務組織のスリム化と機能強化を迫るべく、全学的規模で組織の見直しを図る。また職員研修の体系及び内容の見直しを行う。

4. 将来構想に関すること

学校法人専修大学は、神田キャンパス及び生田キャンパスの総合的な構想についての試案づくりに向け、検討する。

【専修大学】

1. 事務システムに関すること

専修大学は、平成16年3月から事務総合情報システムの全面的な再構築を計画的に実施している。平成21年度は、教学系事務システムの第2次再構築を進め、平成21年10月の本稼働を目指す。

2. 広報活動に関すること

専修大学は、本学のブランドイメージを広く浸透及び向上させるため、創立130年を顕彰するPRを展開する。また、ホームページの充実やマスメディアへのプレスリリースを積極的に行い、教育研究成果や学生の活躍等、大学からの知的情報発信を活性化させる。

3. 学生募集に関すること

専修大学は、広く全国から優秀な受験生を募り、さらに本学への入学意欲を喚起するために、大学広報誌、ホームページ、説明会等における発信情報の質を向上させ、また内容の充実を図る。

【石巻専修大学】

1. 防災に関すること

石巻専修大学は、地震等の大規模災害に備え、防災用品の備蓄等を計画的に進め、防災対策を強化する。

2. 学生募集に関すること

石巻専修大学は、東北エリアからの募集力を更に強固にするため、特命教員や客員教員を活用し、高等学校との連携を図っていく。また、平成20年度にリニューアルしたホームページによる受験情報の発信を強化する。

【専修大学北海道短期大学】

1. 学生募集に関すること

専修大学北海道短期大学は、入学者の確保に向け、学生の在学状況報告等を通じて、出身高校教員との連携を密接にする。また、モバイルサイト（携帯版ホームページ）の作成等、情報発信の強化を行う。





学校法人 専修大学